とだ 議会だより

No.204
3 2019年 月定例会
発行：2019年5月1日

浸水被害ゼロに向けて 大きく前進 ▶2
平成31年度予算決まる
4常任委員会の年間活動成果 提言書を提出 ▶8
各派代表による総括質問 ▶12
そこがききたい 14人の議員が一般質問 ▶15

戸田市議会 検索
http://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/
撮影：入園式（戸田公園クマさん保育所）

平成31年
3月定例会
2月20日～3月25日

浸水被害ゼロに向けて大きく前進
平成31年度予算決まる

3月定例会は2月20日から3月25日までの34日間の会期で開かれ、市長提出議案 37件と、議員提出議案3件が提出され、いずれも可決しました。また、5議案に対し延べ 16人の議員が質疑し、議案2件に対し、延べ4人の議員が討論を行いました。

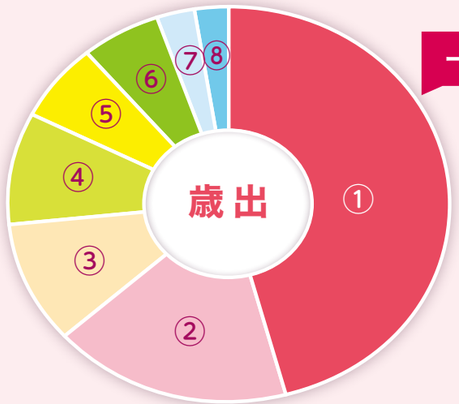
市長施政方針に対する総括質問では、会派を代表して5人の議員が質問を行いました。また、4日間にわたる一般質問では、14人の議員が活発な論戦を展開しました。

一般会計歳入 554億2000万円

①市税	285億5004万円
②繰入金	22億8875万円
③諸収入	21億1891万円
④分担金及び負担金	9億4789万円
⑤その他自主財源	17億7001万円
⑥国庫支出金	98億9394万円
⑦市債	36億3800万円
⑧県支出金	29億8746万円
⑨地方消費税交付金	25億円
⑩その他依存財源	7億2500万円

※千円単位は四捨五入

歳入では、市税（市民税・固定資産税等）が全体の51.5%。その他、繰入金や諸収入を含めると、自主財源は全体の64.3%。また、国・県からの交付金などの依存財源は、全体の35.7%。



一般会計歳出 554億2000万円

①民生費	254億7075万円
②教育費	97億5861万円
③総務費	54億8990万円
④土木費	50億8827万円
⑤衛生費	35億8608万円
⑥公債費	31億868万円
⑦消防費	15億9635万円
⑧その他	13億2136万円

※千円単位は四捨五入

歳出では、教育費が前年度比 44億9139万円の増。これは、戸田東小学校・戸田東中学校の改築や新曽中学校教室棟の増築、スポーツセンターの屋内プール新築などによるもの。

平成31年度　予算あらまし

		前年度比
一般会計	554億2000万円	10.2%↑
特別会計	230億4324万円	0.4%↓
予算総額	784億6324万円	6.9%↑

全員賛成可決

元号について…今号の議会だよりは、平成31年3月定例会に関する記事をはじめ、改元日以前に議論した内容や決定した内容を掲載していることから、「平成」の表記を使用しています。

平成31年度　注目事業

※千円単位は四捨五入

浸水対策　1億4897万円

★雨水排水計画を見直し、排水能力の向上・浸透施設の採用等、地域の強靭化を目指す

★排水ポンプ等の設置および既存の雨水幹線の浚渫（笹目地区）

★調整池の早期運用と笹目川への一時的放流を基本とする対策（消防本部周辺）

★上戸田川の浚渫、雨水排水系統の見直し（健康福祉の杜周辺）

※浚渫…底面をさらって土砂などを取り去る土木工事のこと。

3キュー子育てチケット事業　808万円

第3子以降の出生児を対象に、育児サービス等に利用できるチケットを交付する埼玉県の事業に戸田市独自の上乗せ

こども医療費支給事業対象年齢拡大　459万円

対象年齢を高校生（18歳）までに引き上げる（入院費のみ）

学校給食費補助金を新設　2350万円

第3子以降の児童生徒の給食費の半額を補助

戸田型15年教育を推進　642万円

ゼロ歳から15歳までの教育や保育のサービスを、総合的に推進

企業現状調査の実施　1320万円

市内全域の事業者を対象に、事業者が抱える課題やニーズを把握する基礎調査を実施し、支援策を検討

見守り防犯カメラを整備　1959万円

通学路を中心とした不審者や事故多発地点に設置

主な議案の質疑

◇31年度一般会計予算

戸田市PR大使（広報事業） 50万円

Q 戸田市PR大使の対象者と情報発信の方法は。

A 対象者は、本市にゆかりのある芸能人や文化・芸術・スポーツ分野で活躍する方など、本市の魅力を発信できる方を想定。大使には、市政情報の発信や本市主催のイベントへの参加など、本市の魅力を市内外へ発信していただくことを考えている。

埼玉県コバトン健康マイレージ事業（健康増進事業） 413万3千円

Q 事業の詳細は。

A 埼玉県のシステムを使い、毎日の歩数などからポイントをため、抽選により県の特産品等の賞品が当たるなど、ゲーム感覚で楽しみながら健康づくりに取り組むことができる事業。

戸田市の魅力PR冊子作製（観光事業） 804万7千円

Q 戸田市魅力PR冊子の概要は。

A 平成27年度に20ページからなる戸田市版「るるぶ」を3万部作成。市制施行50周年記念に合わせて配布したところ、大変好評であった。今回は、ページ数を増やし、市内店舗やお出掛けスポット等をより多く紹介するとともに、QRコードをスマートフォンなどで読みとることで、お店や施設などに関する動画を観ることができるよう、AR機能を追加する。

▶平成27年度に作製したPR冊子

バリアフリー構想策定業務（駅周辺建築物等整備事業） 399万円

Q 事業の内容は。

A 改正バリアフリー法※により、駅、道路、公共施設などの一体的、計画的なバリアフリー化を促進するため、移動等円滑化促進方針制度が創設された。本市もバリアフリーを推進するため、移動等円滑化促進方針の策定に向け、現況調査やアンケート調査、法定協議会設立のための検討を行う。

電話SNS相談業務委託（就学・教育相談事業） 624万6千円

Q 事業の詳細と導入の経緯は。

A 市内小中学校に通う児童生徒およびその保護者を対象に、専用の電話やSNSによる相談窓口を開設。専門の資格を有する相談員が、さまざまな悩みに対応していく。導入の経緯としては、児童生徒の用いるコミュニケーション手段として、SNSが非常に高い割合になってきていることから、先進事例の調査研究を進め、導入するに至った。

スクール・サポート・スタッフ（小・中学校管理運営費） 309万円

Q 業務の内容は。

A 教頭の業務負担軽減のため、小学校1校、中学校1校にスタッフを配置し、施設管理、電話、来客対応等を行う。これまで以上に教頭が、校長の補佐や、指導力向上のための教員への指導、保護者へのきめ細やかな対応ができるようになることを期待している。

◇笹目コミュニティセンターの使用料の改定（条例改正）

Q 使用料を見直した理由は。

A 平成28年8月に受益者負担の見直し方針が改訂されたが、センターの使用料は、平成9年の開館以来、大幅な見直しを実施していなかった。そのため、指定管理者である笹目コミュニティ協議会と協議した結果、消費税の引き上げ時期に合わせ、受益者負担の見直し方針を踏まえた使用料の見直しを行った。

※改正バリアフリー法…高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律の通称

討論

◇31年度一般会計予算

原案可決（全員一致）

賛成

戸田市の豊かな財政は暮らしの負担軽減に

本田　哲　議員

私たちのアンケートで約50％の市民が「生活が厳しくなった」と回答する中、市長に「市民の切実な声に応える予算編成を」と要望書を提出し、市民要求実現を求めてきた。新年度予算は、「こども医療費高校卒業までの無料化拡大」「浸水対策強化」「全小中学校の体育館へのエアコン設置」など、日本共産党戸田市議団が要望してきた市民要求が実現していることを評価し賛成する。建設事業に45億円も投入できるのは、市の財政の豊かさを示している。また、30年度補正で38億円を基金に積み立てたが、その一部を使えば、暮らしの負担を軽減できたと考える。地方公共団体の役割は「住民福祉の増進」である。今後も、市民との対話を重視し、住民本位のまちづくりを目指し、豊かな財政を暮らしの負担軽減、要求実現に生かすことを要望する。

賛成

課題に果敢に取り組む姿勢が見える予算編成

酒井　郁郎　議員

31年度予算は、前年度比10・2％増であるが、主な要因は、戸田東小学校・中学校における施設整備等、あらかじめ予定されていた事業であり、支出額も想定の範囲内である。財政運営では、国・県補助金の確保や、既存事業の継続的な見直し、予算の効率的・効果的な執行に努めていくとの総括質問における市長答弁も得ており、現時点において問題はない。子育て負担の軽減策として、こども医療費支給の対象拡大、3キュー子育てチケット事業の市独自支給等、多岐にわたる検討の跡が見られる他、若い世代の健全な育成の観点からは、戸田型15年教育の推進や小中学校体育館へのエアコン整備などの予算も盛り込まれている。

従来の常識にとらわれず、課題に対して果敢に取り組む姿勢の見える予算編成であり、賛成する。

◇笹目コミュニティセンターの使用料の改定（条例改正）

原案可決（賛成21　反対4）

反対

公平で開かれた運営と使用料にすべき

花井　伸子　議員

多目的ホール使用料は、610円が3年後には1610円と2.3倍にもなる。受益者負担の見直しにより、他施設ではサークル活動を止めざるを得なくなった団体もある。公共施設は市民の文化の醸成と地域コミュニティの公共の場として、全ての市民に公平で開かれた運営と使用料にすべきであり、反対する。

賛成

市民と地域にも配慮した上での改正である

浅生　和英　議員

今回の見直し案について、市民の声を聴くためパブリック・コメントを実施するだけではなく、利用団体もメンバーである笹目コミュニティ協議会にも意見を聴いており、反対する意見は無かったとの報告を受けている。受益者負担の見直し方針に沿った内容、また、市民と地域にも配慮をした上での改正であり、賛成する。

意見書

意見書（議員提出議案）を国・政府に提出

◇食品ロス削減に向けてさらなる取り組みを進める意見書

国、地方公共団体、事業者、消費者等の多様な主体が連携し、食品ロスの削減を総合的に推進するため、法律の制定を含めたより一層の取り組みを実施することなど3点を強く求める。

◇妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書

医療現場において、妊婦が安心して外来診療を受けられるよう、特有の合併症や疾患、投薬の注意等、医師の教育や研修の体制を整備することなど3点を求める。

◇UR賃貸住宅ストックの活用を求める意見書

2030年度までに250団地程度の地域医療福祉拠点の整備を進めることなど4点を求める。

総務常任委員会
文教・建設常任委員会
健康福祉常任委員会
市民生活常任委員会

委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました。

議案や請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。
その経過と結果は、3月25日の本会議で各委員長から報告がありました。
下記はその概要です。

総務

政策秘書室・危機管理防災課・総務部・財務部・会計課・消防・行政委員会事務局等

※各常任委員会の所管部署

AIを活用した総合案内サービスの内容は

▲AI総合案内サービスのイメージ　出所：(株)三菱総合研究所および日本ビジネスシステムズ(株)

【31年度予算】

委員 平成31年度に任命を予定している戸田市PR大使の活動内容は。

執行部 イベントへの参加を想定しているが、実際に戸田市PR大使を選考する際に、イベント以外の活動についても調整していく。

委員 AI総合案内サービスの内容は。

執行部 市ホームページ上で、パソコンやスマートフォンによる市民からの問い合わせにAIが回答するものであり、1500件程度のQ&Aが用意されたシステムを採用している。今後、本市独自のQ&Aを追加できるようになることから、回答できなかった質問は、AIに学習させて、回答できるようにしていく。

委員 消防で新たに購入するドローンの活用方法は。

執行部 火災や水難救助においてもドローンの有効性を確認しており、大規模災害時に限らず活用していく。

委員 新たに実施する災害対策本部訓練の内容は。

執行部 管理職を中心とした災害対策本部の訓練を行うものであり、災害時の実際の動きの確認や情報伝達訓練などを予定している。その検証結果は、地域防災計画に反映させていく。

文教・建設

都市整備部
教育委員会

自転車通行空間の整備による効果は

▲自転車通行空間（山宮橋付近）

執行部 4月1日発行の広報戸田市に併せてチラシを配布することや、ホームページへの掲載、マスコミへの情報提供等で、周知を図っていきたい。

委員 英語検定費用助成事業を開始してからしばらくたつが、現在の合格状況はどうなっているか。

執行部 3級以上の取得率が全国で20%前後という状況の中、本市は58%であり、確実に取得率が上がっている。準2級以上を取得している生徒も191人いる。

委員 アレルギー対応の実施状況は。

執行部 卵、乳製品、卵と乳製品両方の3パターンで実施しており、それ以外のアレルギー品目については、実施に向けて検討していく。

【31年度予算】

委員 自転車通行空間を逆走する人を見かけるが、整備を行って、事故が減るなどの効果はあるのか。

執行部 事故件数は把握できていないが、左側通行を守れていない人には、逆走している罪悪感が生まれるので、整備を進めることによって、徐々に意識に根付いていけばと考えている。

委員 空家への住み替え補助金の普及啓発方法は。

健康福祉

福祉部・こども青少年部・福祉事務所・市民医療センター

不適切な会計処理への対応と未然に防ぐための対策は

▲障害者福祉施設にじの杜

委員 障害者福祉施設にじの杜において、不適切な会計処理があったということだが、未然に防げなかったのか。また、その後の対応状況は。

執行部 にじの杜を運営・管理する事業者より、補助金の会計処理が誤っていたとの報告があった。補助金申請時に提出される書類審査では、不適切な会計処理を指摘することができなかった。今後は、定期的に会計伝票等を確認するとともに、事業者に対し適正な会計処理を指導していく。

不適切な会計処理へのその後の対応については、施設への立ち入り調査による会計処理の誤りを確認し、平成27年度から29年度分については返還、平成30年度分については伝票の訂正により是正を行った。

【31年度予算】

委員 民生委員の選出手法と選出に当たっての考え方は。

執行部 各地区の民生委員地区会長等から推薦いただいている。推薦が無かった場合は、町会から推薦していただいている。若い方も選出したいと考えており、ボランティア団体などからの選出も検討している。

市民生活

市民生活部・環境経済部
上下水道部

条例改正に対する意見聴取の方法は

▲笹目コミュニティセンター　コンパル

【笹目コミュニティセンター条例の一部を改正する条例】

委員 条例改正に当たっての意見の聴取方法や寄せられた意見は。

執行部 笹目コミュニティセンターの指定管理者であり、笹目地区の町会長や地域のサークル団体などが参加している笹目コミュニティ協議会に対して意見聴取を行ったほか、パブリック・コメントの際には、笹目コミュニティセンターでも意見を募集したが、特に意見などは無かった。

【31年度予算】

委員 コミュニティバスの利用者アンケートの実施時期と方法は。

執行部 時期は未定だが秋頃になるのでは。調査方法はすべての路線で平日と休日の2日間行い、利用者全員にアンケートへの協力を依頼する予定である。

委員 公園リニューアル計画の方向性は。

執行部 多くの公園が開設から30年以上経過し、住民のニーズも変化している。31年度に実施するアンケート調査などでそのニーズを捉え、バリアフリーやユニバーサルデザインなども取り入れ、時代の要請に合った公園を目指したい。

30年度 常任委員会の年間 活動成果

委員会は、議案や請願の審査のほかに、所管の範囲で調査事件を定め、市政に関する調査活動を行うことができます。本市議会では、常任委員会ごとに具体的な年間活動テーマを決め、原則、毎月１回委員会を開催し、行政に対して政策提言を積極的に行っています。

総務委員会

ＩＣＴを活用し、市民サービスの向上と業務効率化の両立を

総務常任委員会では、年間活動テーマを「市役所業務におけるＩＣＴ化について」と定め、本市の現状を把握したり、先進事例を確認するなど、調査研究を進めてきました。

その成果として、「市役所業務におけるＩＣＴ化に関する提言書」をまとめ、執行部に提出しました。この提言書は、ＩＣＴの効果的な活用により、市民サービスの向上と業務効率化を両立させるための具体的な提案をまとめたものであり、その要旨は次のとおりです。

【市役所業務におけるタブレット端末の活用】

外国人や聴覚障害者とのコミュニケーションをはじめ、庁内会議や災害時の利活用という点でもメリットがあるタブレット端末の導入を提言しています。

【ＩＣＴによる窓口改革】

来庁者に対し、申請可能な行政サービスを積極的に案内するプッシュ型の総合窓口や、地下1階の休憩スペースへの番号案内モニターの設置など、市民の混雑解消や利便性向上に向けた窓口改革を推進するよう提言しています。

【民間の手法を導入した働き方改革の推進】

働き方改革について、先行する民間と連携し、職員の意識改革を進めるほか、テレワークなど、時間や場所にとらわれずに、働くことができる環境の整備などを提言しています。

【ＲＰＡによる業務改善】

定型的な単純作業を自動化して処理するＲＰＡ（ロボティック・プロセス・オートメーション）について、さまざまな自治体が実証実験に取り組んでおり、業務時間の削減などの効果を上げていることから、本市もＲＰＡの導入に向けた検討を行うよう提言しています。

【類似自治体との連携】

システムの共同利用も視野に、本市と同規模の自治体と連携体制を構築することで、さらなる効率化を図るよう提言しています。

【利活用に重点をおいたオープンデータの推進】

行政の透明性の確保や、官民協働による地域課題の解決に向け、利活用に重点を置いたオープンデータの推進を提言しています。

【ＡＩの活用の注視研究】

本市でもＡＩ総合案内サービスを開始しますが、他自治体では、保育所入所選考やケアマネジメント業務等、多様な分野でＡＩを活用していることから、今後のＡＩ技術の動向を注視し、利活用に向けて積極的に検討するよう提言しています。

以上が提言書の要旨ですが、今後生まれる新しいＩＣＴ技術についても、市民サービスの向上や業務効率化、地域課題の解決等、あらゆる観点から有効性を検討し、適切に利活用していくよう要望するものです。

▲1月30日　総務部へ提言書を提出

文教・建設委員会

コミュニティ・スクール推進に向けて

文教・建設常任委員会では、年間活動テーマとして「コミュニティ・スクールについて」をメインテーマに設定し、先進自治体への視察等による、調査研究を行いました。そして、その結果を執行部に提言するため、「戸田市コミュニティ・スクール推進に向けた提言書」を取りまとめました。

本市では、平成30年4月に市内全小中学校に学校運営協議会が設置され、活動が始まりました。しかし、コミュニティ・スクールの活動をどう進めていいか手探りの状況にあることから、本提言書が一筋の光明となるよう、以下3項目、合計16件にわたる提言を行いました。主な内容は次のとおりです。

【コミュニティ・スクールの位置付け】

まちづくりに結びつける等、中長期的な視野を持ち、目的を明確化することを提言しています。

【コミュニティ・スクールを進める組織づくり】

(1)学校・家庭・地域の連携方法

熟議を重視し「学校・家庭・地域」に共通の目標の設定や問題意識の共有を促すこと。児童生徒が町会や自治会の地域行事のお手伝いを行う関わり方を検討すること。地域や家庭が学校への理解やつながりを深めるために、地域コーディネーターを設置し、その活動を促進することなどを提言しています。

(2)学校運営協議会と既存の学校支援団体との関係づくり

学校経営組織の中に地域連携担当教諭を置き、校長と共に学校運営協議会のメンバーに加わるような組織を検討すること。ＰＴＡ組織の中に学校との連携専門の部を置き、ＰＴＡ会長と共に学校運営協議会のメンバーにもなる組織を検討することを提言しています。

(3)小中連携の進め方

中学校区を運営単位とした小中合同の学校運営協議会設置について検討することなどを提言しています。

【市・教育委員会による支援】

(1)コミュニティ・スクールの広報

地域や保護者に周知するため、広報戸田市、市のホームページ、ＳＮＳ等、市による情報発信を行うことなどを提言しています。

(2)教育委員会の環境整備

教職員、地域住民、保護者に対する研修会を定期的に実施し、コミュニティ・スクールへの関わり方等について、アドバイスすること。地域コーディネーターの選任・育成で教頭の負担軽減を図ること。学生ボランティアや市民ボランティアの募集をするなど、学校運営協議会委員候補としての人材発掘ならびに人材育成に努めることなどを提言しています。

▲1月30日　教育委員会へ提言書を提出

30年度 常任委員会の年間活動成果

健康福祉委員会

共生社会の実現に向けた子育て支援施策を

平成30年度は、子供の貧困や保護者による虐待など、さまざまな要因により、適切な保護を受けられていない子供の割合が増加していることなどを受け、そうした状況にある子供たちに対する全国の自治体における対応について研究しました。

出生率は、平成17年に下げ止まり、近年は増加傾向にあります。

とはいえ、人口を維持していくために必要と言われている出生率2・07％には及ばない状況にあります。

子供を地域社会全体で育むという意識が希薄になっている状況下において、少子化問題に向き合い、共生社会の実現に向けて取り組むことが、一人一人の意識を見直すきっかけとなり、かつてのような地域社会で子供を育むといった意識の醸成につながるのではないか、また、さまざまな困難を抱えた子供たち、かけがえのない子供たちが共生できる地域社会の実現に向けた子育て支援施策の実施が必要ではないかと考えました。

そして、今年度の活動の成果として、提言書「共生社会の実現に向けた子育て支援施策について」を取りまとめました。

提言書に記載しました3つの提言項目の内容は、次のとおりです。

【里親と里親制度への支援】

社会的養護が必要な子供たちを見放さないためには、里親と里親制度への支援が欠かせません。里親を支援する機能を有する機関または担当の設置や、補助金等による里親会の活動支援、里親制度への理解の促進、里親を増やす取り組みなど、社会的養護、家庭的養護が必要な子供たちを見放さないために、里親と里親制度を支援する取り組みを行うことを提言しています。

【医療的ケア、重症心身障害児者への支援】

近年増加している医療的ケア、重症心身障害児者およびその家族が安心、安全に地域で生き生きと暮らしていくために、情報提供や相談支援を行う窓口や、協議会の設置による医療と福祉が一体となった支援を行う、重症心身障害児者の地域支援事業を始めることを提言しています。

【両親が離婚した後の養育支援】

両親の離婚に際しては、子供の養育に関する合意書の利用促進、養育プランのアドバイスなど、離婚後の子供の養育支援や養育費確保のための体制の整備と、子供の気持ちを第一に考え、離婚後の子供と親の面会をコーディネートする交流支援などといった、両親が離婚した後の養育支援を行うことを提言しています。

▲1月11日　福祉部・こども青少年部へ提言書を提出

市民生活委員会

日本一の「自転車の似合うまち」を目指して

市民生活常任委員会では、年間活動テーマを「自転車のまちづくりについて」「保養所のあり方について」と決定し、先進事例の調査や現地視察などを行ってきました。

その成果として、「自転車のまちづくり」について、執行部へ「ルールを守り快適な自転車のまちづくりに向けた提言書」を提出しました。

【戸田市みんなで守ろう自転車の安全利用条例の見直し】

平成24年度の市民生活常任委員会の年間活動の成果として成立した、県内初の自転車条例「戸田市みんなで守ろう自転車の安全利用条例」は、平成30年1月に施行から5年を迎え、見直しの時期を迎えていたことから、自転車損害保険等への加入義務化や、ルールやマナーを守らない自転車利用者に対する市職員による指導、自転車に関する情報の収集と発信に関する項目の追加を提言しています。

【自転車総合ポータルサイト】

現在の戸田市情報ポータルサイトでは、自転車に関する情報が担当部局ごとに掲載されており、ワンストップで情報が得られない状況となっているため、兵庫県尼崎市の自転車総合ポータルサイト「尼っ子リンリン」を例に挙げ、自転車総合ポータルサイトの創設を提言しています。

【自転車盗難対策社会実験】

市内で発生する犯罪のうち、発生数が最も多い自転車盗への対策として、尼崎市で実施された自転車盗難対策社会実験「アラーミー」を例に挙げ、自転車盗が犯罪であることの周知と、盗難しにくい環境づくりに向けた対策の実施を提言しています。

【シェアサイクル】

戸田市では、平成30年8月のセブン－イレブン・ジャパンとの包括連携協定締結を契機に、市内のセブン－イレブン3店舗でシェアサイクル事業が開始されており、今後のさらなる利用拡大を図るため、全店舗での展開を働きかけること、公共施設や公園などの市有地へシェアサイクル用駐車場を設置することを提言しています。

【次世代交通安全教室】

市内で実施しているスケアード・ストレイト技法や自転車シミュレータによる交通安全教室では、費用面や会場の確保、設備の持ち運びなどに課題があり、その課題解決の一手として、西日本電信電話株式会社が大阪府警の協力の下、開発している「VR交通安全教室」を例に挙げ、次世代の交通安全教室の検討について提言しています。

▲1月18日　市民生活部へ提言書を提出

そうかつしつもん 総括質問

総括質問とは、新年度の施政方針に対する質問で、2人以上で構成する会派による代表制質問のことです。

今定例会では、3月1日の本会議において、5人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをただしました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の大要です。総括質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。総括質問の模様は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

▲戸田桜づつみ

高齢化、少子化に合わせた配分を

効率的・効果的な執行に努める

戸田の会　酒井（さかい） 郁郎（いくろう）　議員

議員　一般会計予算が前年度比10・2％増と急拡大し、既に決定され、事業として進んでいる案件もある。市民からは公共工事が多過ぎるとのご意見もある。予算の規模や使途は、今後とも高齢化や少子化など社会環境の変化に合わせて配分を行っていくべきだがお考えを。

市長　公共施設の長寿命化や計画的な建て替えをプランに基づき進める。国・県補助金の確保、既存事業の継続的な見直し、予算の効率的・効果的な執行にも努める。

▲毎年繰り返される市内の浸水（戸田駅西口）

浸水対策の大きな進展を期待

議員　浸水対策は、市内全域でご意見を頂く。今回は重点施策となったが、従来の施策との違いは。

市長　既存の雨水排水計画を抜本的に見直し、これまでにない取り組みを行う。特に、笹目の根木橋（ねぎはし）公園付近、北大通りの消防本部周辺、健康福祉の杜周辺等、平成41年の完成を目指す。

福祉総合窓口の充実を

議員　支援を必要とする方にとって、窓口が一本化されれば大いに助かる。各課の連携を強化し、支援の充実につなげていただきたい。

市長　生活困窮、障がい者、高齢者など福祉に関して、どこに相談したら良いか分からないといった方や、相談内容が各課にまたがる複合課題の相談に対応する。市民がどのようなことに困っているのかアンケートを取り内容を検討する。

市政発展には市内経済発展が必要不可欠では

生き生き働ける環境づくり進める

みらいの会　熊木（くまき） 照明（てるあき）　議員

議員　景気拡大期間が戦後最長と言われる中、依然として厳しい状況を肌で感じるが、市政を発展させるには市内経済の発展が必要不可欠であり、市内事業所に対する取り組みを積極的に行う必要があると考える。人材確保の環境づくりや働きやすい環境づくりは重要であり、ニーズの把握や支援体制を構築し、どのように市内経済と雇用の好循環を促していくのかを伺う。

市長　一例として、企業の従業員が資格を取得の際の支援や雇用マッチング等により、各企業が体力を蓄え、生産性や競争力を向上させるとともに、安定的に人材確保ができるよう、従業員が生き生きと働ける環境づくりを進め、経済と雇用の好循環を促進する。

町会と行政の役割分担の見直しを

議員　町会・自治会への加入率低下や役員の高齢化があり、活動の継続のためには町会と行政の役割分担の見直しが必要と考えるが。

市長　昨年のアンケート調査結果を基に、町会連合会の意見を聞きながら見直す。また、本市に合った「地域担当職員制度」導入を考える。

AI総合案内サービスの効果は

議員　AI対話形式により期待をされる具体的な効果は。

市長　市民が24時間、問い合わせや情報を得ることができる。

▶少人数で市からの広報を仕分け（沖内町会）

高校生まで医療費無料化促進を求める

10月から、まず入院費で実施

公明党　三浦（みうら） 芳一（よしかず）　議員

議員　公明党として長年にわたり高校生までの医療費無料化を求めてきた。今回は入院のみの実施だが、通院費までの考えは。

市長　本年10月から入院費のみで実施する。通院までの拡大については、入院扶助の実績、その効果等を分析した上でしっかりと研究していく。

「防災・減災条例」の早期制定を

議員　政府の地震調査委員会が太平洋の日本海溝沿いで起きる地震の長期評価を公表し、より発生確率が上昇した。今後、防災・減災対策を政治の中心に置き、「防災基本条例」の早期制定を急ぎ、「戸田市・国土強靭化（きょうじんか）計画」の促進を。また、自助・共助を中心とした市民会議の設置メンバーの構成は。

市長　条例は、平成32年度末の制定を目指す。また、市民会議構成メンバーとして、地域防災に関する識見を有する者や市内の防災関係団体に属する者、公募市民を委員として考えている。

▶体育館での体育の授業（笹目東小学校）

※輻射（ふくしゃ）パネル…冷水や温水を直接パネル内に通し、その輻射（冷輻射・温輻射）により室内を冷やしたり、暖めたりするパネルのこと。

小中学校体育館にエアコン設置を

議員　昨年夏は災害とまでいわれた猛暑日が続き、災害時には避難所となる。エアコンの設置を。

市長　輻射（※ふくしゃ）パネルを組み合わせたハイブリッドエアコンの設置を検討している。運用については、保護者会や入学・卒業式、体育授業などの学校行事、災害時等を予定。

市民の声に応え、暮らしを支える市政運営を

持続的発展に全力を尽くす

日本共産党
戸田市議団　花井（はない） 伸子（のぶこ）　議員

議員　日本共産党戸田市議団が行った「市民アンケート」では、回答者の約50％が「生活が厳しくなった」と答えた。市長の新年度予算編成では、小中学校体育館へのエアコン設置、高校卒業までの入院医療費助成、浸水対策の強化など市民要望に応えた一方で、高齢者への暮らしの支援、受益者負担の公平性という点において改善を求めるところもある。この間の自治体運営は、国からの圧力が強まり自由度が奪われている中で、地方自治の本来の役割である、住民福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を担うことが重要である。予算全体は前年度比約50億円増であるが、ほとんどは建設事業費であり、一度にこれだけの施設の建て替えができるということは、戸田市の強い財政力を示しているものである。市は財政の厳しさばかりを強調するのでなく、市民の声にしっかりと応え、暮らしを支える市政運営をすべき。

市長　人口増加に伴う待機児童対策をはじめとしたさまざまな本市特有の現状課題の解決に全力で取り組むとともに、来るべき少子高齢化を見据えて取り組むことが重要である。小中学校の建て替えや、公共施設の大規模改修、超高齢化社会への対応など今後も多くの財政需要があり、厳しい状況が見込まれる。時代の変化をいち早く察知して、本市を持続的に発展させるべく全力を尽くす。

▲浸水が多発する笹目地区

市長は議会・議員との関係をどう考えるか

自治基本条例の理念通り

平成会　伊東（いとう） 秀浩（ひでひろ）　議員

議員　市長は議会および議員との関係をどのように考えているか。

市長　「市民と議会と行政が手を携えてそれぞれの力を発揮し、協力し合い、助け合う」という自治基本条例の理念の通りであると考える。

ICT教育の具体策は

議員　中学校にタブレット型パソコン約千台を導入し、県内一のICT教育環境を目指すとのことであるが、今後の具体策は。

市長　時代の変化に対応し、費用負担も考慮しながら、効率的で効果的な整備を進めていく。

▶戸田市議会（議場）

保育の質の向上への取り組みは

議員　保育の質の向上と保育士確保・定着化についての取り組みは。

市長　研修会の開催や巡回支援等の実施、活発な意見交換を重ねる等、市内保育関係者が一体となり保育の質の向上に努め、産学官協働で課題の共有・解決に取り組んでいく。また、保育士確保・定着化に努める。

市役所本庁舎の配置変更は

議員　市役所本庁舎の配置変更等について伺う。

市長　将来的な課題に柔軟に対応できる体制整備および執務スペースの確保のために実施するものである。

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、14人の議員が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の大要で、質問者本人が執筆しております。

なお、一般質問の模様は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

平成31年3月25日　撮影

そこがききたい

一般質問

児童虐待防止

竹内（たけうち） 正明（まさあき）　議員

Q 緊急で対策を強化すべきと考える。見解は

A 現況の確認を最優先に行いたい

議員　悲惨な児童虐待が繰り返されている。他市の事件を受け、子どもの生命を守る対策に生かしていくべきと考える。本市の現状は。

こども青少年部長　平成29年度の通告件数は79件、そのうち虐待と判断したものは32件であった。ほとんどの場合、近隣住民や保育園、小中学校など子どもの近くにいる人が通告という形で市や児童相談所に連絡を入れていただくことで発見につながっている。

議員　子育て世代の保護者の支援体制について伺う。

こども青少年部長　平成27年「子ども・子育て支援新制度」※がスタートした。本市は子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供を気軽に受けられる環境を整備し、育児不安の解消に努めてきた。

議員　緊急で児童虐待防止対策を強化すべきと考える。市の見解は。

こども青少年部長　当面の緊急的な対策として、現在虐待対応の指導や見守りを継続している家庭に対して、児童相談所と協力し現況の確認を最優先に行いたい。

議員　親からの虐待により子どもの生命が奪われるという悲しい事件を二度と繰り返さないとの大人の決意が大事だ。本市の子どもや子育てに関わる関係部署の職員や学校の先生たちは熱意を持って頑張っている。私も連携して、また地域の皆さんとも一緒に社会全体で対策に全力を尽くしていきたい。

▲児童相談所全国共通ダイヤル
189（いちはやく）啓発ポスター

※子ども・子育て支援新制度…幼児期の学校教育・保育や地域の子ども・子育て支援を総合的に進めていく新しい仕組み。

風疹予防対策

三輪（みわ） なお子（こ） 議員

Q 患者急増の拡大防止対策は

A 抗体検査及び定期接種の無料実施

議員 昨夏より首都圏などで風疹患者が急増している。①市の現状②風疹拡大防止対策の実施方法は。

福祉部長 ①南部保健所管内での届け出数によると、30代から50代の男性を中心に11件②39歳から56歳の男性を対象に3年間、抗体検査の無料クーポン券を個別に発送。全国の医療機関で使用できる。十分な抗体が無いと判明した場合、無料で風疹の定期接種を受けることができる。

敬老祝品（コイン型商品券）の協賛店舗を拡大しては

議員 使用実績について伺う。

福祉部長 換金率は約9割。協賛店舗165店舗のうち、60店舗での利用実績となっている。協賛店舗は、特に美女木・笹目地区において少ない現状である。

議員 協賛店舗を拡大しては。

福祉部長 硬貨型商品券の協賛店舗となるには、戸田市商工会に加盟店登録する必要がある。高齢者が買い物に出かけることは社会参加の一つとなり、健康維持に一助となることからも、関係部局と連携し、戸田市商工会に働きかけていく。

その他の質問

Q 若年層の献血を増やすには。

A 若年層の参加しやすい日程および会場の提供を検討する。

▶風疹予防対策の啓発リーフレット（出典：厚生労働省）

高齢者施策

佐藤（さとう） 太信（たかのぶ） 議員

Q 介護疲れやストレスを感じる人への支援を

A 継続的な支援を行う

議員 高齢者がいつまでも元気に過ごせるよう課題解決に向けた取り組みが必要と考える。①足腰が悪く、ごみ出し困難な方への支援を②介護と育児を同時に見るダブルケア、負担軽減のため相談窓口の一本化を③高齢者虐待件数、対策を。介護疲れやストレスを感じる人への支援を④消費者被害は、詐欺の手口が多様化している。警察との連携、予防策の展開を。

福祉部長 ①ボランティア等による支援を検討②平成32年度に福祉総合相談窓口を設け、一本化する③家庭での虐待件数は51件（平成29年度）、地域包括支援センターや民生委員と連携、虐待を受けた方、してしまった方への継続的な支援を行う④地域ケア会議にて警察と情報共有、連携する。

都市交通マスタープランに基づく、まちづくりは

議員 笹目地区では買い物難民等が増加することが予想される。今後の交通施策は。

都市整備部長 買い物難民等に関し、地域の声を聞いて課題に取り組む。民間主導やデマンド型の交通サービスの導入が有効な場合、具体的な検討に入る。

議員 高齢者等の公共交通利用促進に向けたシルバーパスの導入検討を。

市長 財政的な影響を整理した上で、導入に向けて進める。

▲福祉総合相談ふくふく窓口
（提供：東京都国立市役所）

子育て支援

浅生（あそう） 和英（かずひで） 議員

Q ベビーシッターなど訪問型の支援を

A 現在考えてない

議員 訪問型の子育て支援を行っている自治体が複数ある。官民連携や補助金の活用で、子育て支援の充実、子育て中のさまざまな状況に対応できるサービスを要望する。①ベビーシッターなどの訪問型の支援を②「子育て支援員」という全国共通の認定資格取得の養成講座を実施しているが、市民への周知不足である。今後の展開は。

こども青少年部長 ①市内3カ所に病児・病後児保育施設を設置しており、受け入れ態勢は十分と認識していることから、訪問型の保育事業は現在考えていない②これまでの成果と課題を整理し、来年度中に方向性を検討する。

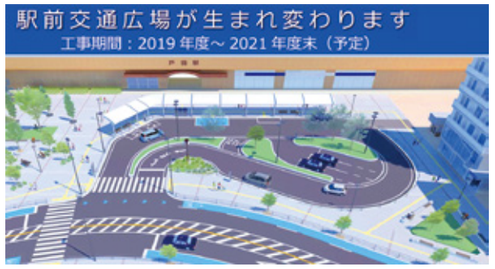
議員 病児・病後児保育に限らず、子育て世帯のニーズを捉え、訪問型支援の検討をお願いする。

戸田駅前整備と公共交通の利便性向上は

議員 戸田駅西口駅前交通広場が2021年度完成予定と聞く。①戸田駅前へ路線バスの乗り入れを②西部地域の住民には、tocoバス南西循環はライフライン、生活の一部である。南西循環のルート見直しと16時台の増便を。

都市整備部長 ①バス事業者と交渉したが乗り入れは困難との回答。東口駅前整備の際にも交渉する。

市民生活部長 ②運行事業者には幾つか課題もあるようだが、継続的に協議を進めていく。



▲戸田駅前整備の完成イメージ

介護保険

むとう 葉子（ようこ） 議員

Q ケアプランの点検は、どのように進めるのか

A 適切な計画かを協議する

議員 第7期介護保険制度の改定では、本市でも介護給付費を抑制し、サービスの利用が一層、厳しくなるという懸念がある。認定調査のチェックやケアプランの点検等は、どのように進めるのか。

福祉部長 「要介護認定の適正化」はチェック漏れが無いかを確認。また、「ケアプラン点検」は居宅介護支援事業所へ訪問し、自立を促すような適切な計画かを協議する。

議員 要介護認定では、審査をスムーズに進めるよう要望する。ケアプランの中には、自立より現状維持が困難なケースもある。認知症や看取り等の支援では、多くのサービスが利用されている。必要な支援を抑制しているのでは。

福祉部長 自立支援および重度化防止の視点で確認している。

不登校児童生徒の対応は

議員 不登校児童生徒には、本人に寄り添った解決策が求められている。教育相談業務の成果はあるが、相談員が代わることで再び不登校となるケースがある。継続して勤務できる正規雇用にしては。

教育部長 相談員が継続して勤務できる環境づくりを研究する。

その他の質問

Q 市内小学校におけるクラブハウスのトイレは使用しづらいとの声がある。修繕の検討を。

A 必要に応じて修繕を実施する。

▲美谷本小学校のクラブハウストイレ

新曽地区下水道

十川（そごう） 拓也（たくや） 議員

Q 汚水整備の現状と今後の計画は

A 中地区の本管布設工事を推進する

議員 新曽地区の汚水整備の現状と今後の計画は。

上下水道部長 平成29年度末の新曽中央地区の下水道整備率は41・31％であり、現在、西地区、東地区、中地区の順に整備している。西地区は、「芦原上原線」に沿って下水道幹線を、東地区は、新曽南幹線と上戸田川周辺を主に実施した。中地区は、新曽福祉センター周辺を実施しており、未整備地区を鋭意整備していく。今後は、下水道整備の基本は下流からの整備であるため、「前谷馬場線」と中地区の本管布設工事を推進する。

▲新曽地区下水道整備事業

喜沢地区に土に親しむ広場を

議員 応募、市内配置バランス等の現状は。また、喜沢南広場が閉鎖した。喜沢地区につくれないか。

環境経済部長 平成30年度の応募は351人で、倍率は1・6倍。現在、広場は、下戸田2、上戸田3、新曽7、美笹地区2の計14広場であり、新曽地区が7広場と全体の半分を占める。喜沢南広場は、平成31年3月末に閉鎖するため、喜沢地区に要件に沿う土地があれば、前向きに検討する。

その他の質問

Q スケートボード等のアクティビティスポーツの環境は。

A 彩湖・道満グリーンパークの多目的広場が、今現在でも使用できる環境である。

障がい児者支援

手塚（てづか） 静枝（しずえ） 議員

Q カード型「障害者手帳」の導入は

A 国や県の動向を踏まえ検討する

議員 障がい児者に優しいまちづくりについて伺う。①プラスチック製カード型「障害者手帳」の省令改正後の導入は②「親亡き後等」の問題解決に向けた支援は重要である。不安解消につなげる支援のさらなる取り組みを③障がいのある方に特化した、わかりやすい「防災ブック」の作成を④「障害者文化芸術活動」のさらなる支援を。

福祉部長 ①国や県の動向を踏まえてカード化を検討する②親亡き後の支援を見据えた「相談支援と情報提供体制」の充実を掲げ、本人や家族の不安解消に努めている③関係課と連携を図り先進事例等を調査研究していく④これまでも積極的に後援等行ってきたが、さらに脚光を浴びる機会や、市民の理解が進むよう支援していく。

▲カード型障害者手帳のイメージ（出典：厚生労働省）

液体ミルクを災害時の備蓄品に

議員 今春、販売予定の乳児用液体ミルクは、母乳に近く、常温ですぐに使用できるので、災害時の備蓄に有効である。いかがか。

危機管理監 ライフラインが使用できなくなる可能性もあることから、備蓄も視野に検討する。

「電子母子手帳アプリ」の導入を

議員 妊娠・出産・子育ての情報を、いつでも、どこでも、簡単に入手できる電子母子手帳の導入は。

福祉部長 情報を収集し、利用者の利便性向上に向けて検討する。

一般質問

交通安全対策

本田（ほんだ） 哲（てつ） 議員

Q 浅間橋（あさまばし）付近に横断歩道の設置を

A 関係機関と協議していく

議員 さくらパルに行くためｔｏｃｏバス西循環の浅間橋停留所を利用している市民から、横断歩道設置の要望が寄せられている。オリンピック通りを安全に横断できるよう浅間橋付近に横断歩道の設置を。

市民生活部長 横断歩道の設置については、どのような安全対策が必要になるのかを含め、関係機関と協議していく。

▲ toco バス西循環の浅間橋停留所付近

生活困窮者支援の充実を

議員 今年の秋、市役所1階に福祉総合相談窓口を設置し、生活困窮者支援の強化を図るとしている。生活困窮者支援のより一層の充実を求めて、以下の点について伺う。①福祉総合相談窓口の業務は②1階に移動させる「生活支援課」「生活自立相談センター」と「ふるさとハローワーク」の連携内容は。

福祉部長 ①経済的な問題を抱えた方だけでなく、福祉に関する相談があるが、どこに相談したら良いかわからない方や、庁内各課に相談内容がまたがるといった複合課題を抱えた方をはじめ、福祉に関する相談のファーストステップとしての窓口②生活支援課および生活自立相談センターの移動により、「ふるさとハローワーク」との距離が縮まることから、生活困窮者支援の実効性をより高め、現在の連携をさらに強化していく。

保育行政

石川（いしかわ） 清明（きよあき） 議員

Q 保育ニーズの変化への対応は

A 将来を見据えた保育所整備を検討

議員 アクションプラン※の現状は。

こども青少年部長 最終年度は当初の385人分から100人減じ、285人分の受け入れ枠の拡大を図る旨の見直しを行った。平成31年4月には認可保育所3園の新設と296人分の受け入れ枠拡大を予定している。

議員 今後の保育ニーズの推移予測は。

こども青少年部長 平成28年度をピークに減少に転じている就学前児童の数と、今後の共働き家庭の増加、幼児教育・保育の無償化等を契機とした保育ニーズの増加等を総合的に鑑みながら、推計していく。

議員 長期的な保育ニーズの変化への対応は。

こども青少年部長 戸田市においても将来的には保育需要が減少に転じることが想定される。引き続き、就学前児童数や申し込み率等の推移に注視しながら整備を計画していくとともに、他の用途への転用や利活用等、将来を見据えた保育所整備についても検討する。

議員 連携保育に係る5年間の国の経過措置後の対応は。

こども青少年部長 全国的に見ても平成30年4月現在で連携施設の3要件すべてを満たしている事業所は46％にとどまっている。国において、経過措置をさらに5年間延長する省令改正を年度内に行う予定である。

▲保育園の風景

※アクションプラン…戸田市待機児童緊急対策アクションプランの略。平成28年4月1日現在の保育所等の待機児童数は106人と、初めて3桁に達したことなどから、3年間のアクションプランを策定した。

高齢者サービス

土屋（つちや） 英美子（えみこ） 議員

Q 買い物支援サービスガイドブックの作成を

A 支援ニーズの状況を見極め検討

議員 近くに商店もなく、移動手段もなく、日々の買い物に困っている高齢者が増えている。買い物支援サービスを行っている事業所を把握して、支援サービスガイドブックを作成してはどうか。

福祉部長 生活支援コーディネーターが中心となり、商店等の地域資源をリストにまとめている。ガイドブック作成は支援ニーズの状況を見極めながら検討していく。

緑地帯の整備は

議員 笹目北町の緑地帯は、木が大きくなり過ぎて暗いことや、大量の落ち葉が近隣住民の敷地にたまり、困っている。剪定（せんてい）、清掃等の対策を講じるべき。

環境経済部長 低木の剪定を年1回、草刈り込みを年3回実施。高木の剪定は委託業者や地域の声を受けてから、状況に応じ剪定、今年度は3回実施。4回目の作業は3月中の完了を目指している。緑地としての機能を保ちつつ、地域の声を聞いて適切に対応する。

公園トイレの設備充実を

議員 洋式トイレが少なく、手すりの無い和式トイレで転んで、危険な目に遭った高齢者もいる。手すりを付ける等、改善を求める。

環境経済部長 トイレの改修時や新設する際は手すりをつけている。調査の上、手すりのない箇所は順次対応する。

▲笹目北町の谷口橋から笹目中学校までの緑地帯

水道事業

高橋（たかはし） 秀樹（ひでき） 議員

Q 民営化すべきではないと考えるが市の考えは

A コンセッション方式の導入は無い

議員 ①国会で改正水道法が可決されたが、外国では、水道料金が5倍に値上がった事例もある。民営化すべきではないと考えるが、市の考えについて伺う②外国では民営化で水質の悪化が問題になった。安全な水と、おいしい水の供給は可能か③水道管の老朽化の改修や、浄水場の改修計画を伺う。

上下水道部長 ①戸田市の水道運営は、包括的民間委託※により官民連携を進めている。現時点では、水道法改正によるコンセッション※方式を導入する考えは無い②法による水質検査を行っており、安全性を損なうことはない③ダクタイル鋳鉄（ちゅうてつ）製水道管の早期更新を考えている。浄水場も計画的に改修を進める。

入札参加資格の見直しが必要

議員 ①入札参加時の工事実績は公共事業を重視しており、地元企業の参加の機会が少ない。民間工事の実績も考慮すべき②企業のランク付けは工事実績で5段階になっており、区分の検討をすべき③工事業者のエリアを、近隣市や埼玉県内に絞ることも必要。

財務部長 ①入札資格要件は地方自治法の規定もあるが、工事の監督や検査、施工状況等も評価される。民間工事の適用は慎重な判断を要する②資格要件は、今後も適切な競争参加資格の設定に努める③入札参加地域は近隣市、埼玉県、東京都を地域要件として検討。

▲市内の6割の水を供給できる西部浄水場

教育改革

林（はやし） 冬彦（ふゆひこ） 議員

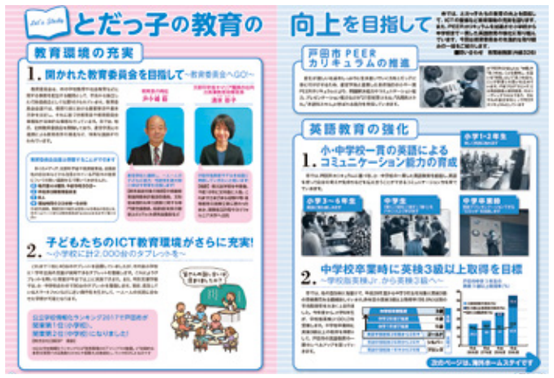
Q 背景にある考えは何か

A 変化の激しい時代を生き抜く力

議員 本市で進む教育改革の背景にある考えと特徴は何か。

教育部長 「これからの変化の激しい時代を生き抜くためにはどのような力が必要か」という問いを原点に、経験と勘と気合による従来の教育実践から脱却した「エビデンス※に基づく教育政策」や社会の知のリソースを活用する「産官学民との連携」を重視している。70を超える企業、大学、公的機関等と連携し、効果的な指導方法に関する共同研究、教員研修、企業等が開発した新たな学びのためのカリキュラムやICT機器の導入、特別支援教育等での多角的な取り組みの研究や実践を行っている。ウィンウィンの関係構築により、その多くがほぼ無償となっている。

議員 多くの応援があるためには、市政が法にのっとり、「公平公正」に運営されていることが極めて重要。新年度予算の教育委員会関連には、市長の出身校である日本体育大学を含めた他大学や企業等との連携を含め、講師謝礼として総額百万円が計上された。地方教育は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」にのっとり、市長であっても教育の内容や連携先を指示できない。本市の教育は国からも注目されているだけに、厳しい目で見られていることを意識し、百万円の案分についても教育委員会が公平公正に決定することが重要である。



▲とだっ子の教育の向上を目指して　（広報戸田市平成30年5月1日号）

※エビデンス…客観的根拠

交差点名標識

馬場（ばば） 栄一郎（えいいちろう） 議員

Q 同じ名称や旧施設名の交差点があるが修正を

A 誤解を招くものは修正していく

議員 国土交通省は、観光先進国や地方創生の実現に向け、観光地名を表示するなど、分かりやすい案内となるよう標識の改善を行っている。「戸田漕艇場入口」「戸田橋」「戸田の渡し」などの交差点名に変更してはどうか。

都市整備部長 現在の交差点名が地域に定着しているため、変更することは難しい。

議員 交差点名標識は、道路の円滑化や道路利用者へのサービス向上の観点から重要な役割を担っている。同じ名称や旧施設名の交差点があるが修正できないか。また、Google（グーグル）マップ等に、今現在、標識が無いにもかかわらず交差点名が表示されている箇所がある。事業者に削除を申し入れすべき。

都市整備部長 利用者に分かりづらいものや周辺状況の変化により誤解を招くものは、随時修正していく。また、電子地図上のものは、事業者に連絡する。

信号機の移設を

議員 マミーマート下戸田店が昨年開店し、旧蕨警察署通り店舗前の横断歩道の利用者が増えている。旧蕨警察署前にある手押し信号機を移設できないか。

市民生活部長 信号機設置の指針の条件は満たしていないが、状況によって、公安委員会が判断する。地域の総意を確認し、現地確認の上、警察と協議していきたい。

▲旧施設名（上戸田福祉センター）の交差点

※包括的民間委託…事業主体は自治体で、浄水場等の運転や維持管理等、48業種を一括して共同企業体へ委託する方式。
※コンセッション方式…施設の所有権を自治体が保有し、長期間運営権を民間業者に委託する方式。

肺がん検診

Q X線の早期発見率は3割、低線量CT導入を

A 国の指針で非推奨。慎重に検討

矢澤（やざわ） 青河（はるか） 議員

議員 昨年、杉並区の肺がん検診でがんを見落とされた40代女性が死亡。調査委は「胸部X線による肺がん検診そのものに大きな問題がある」と最終報告を発表。肺がんは、がんの中で死亡数が最多、5年生存率も圧倒的に低い。X線の肺がん検診は感度が悪く、早期発見率は約3割と著しく低い。一方、被曝量を抑えた低線量CT（LDCT）は解像度が高く、早期にがんを発見可能。全国で235自治体が導入。日立市では自己負担千円で受診でき、死亡率減少効果も報告。市の検診にLDCT導入を。

福祉部長 国の指針でLDCTは証拠不十分で非推奨。過剰診断等の問題があり、導入は慎重に検討。

議員 アメリカ等が採用する臨床医マニュアルでは、X線と喀痰（かくたん）細胞診の肺がん検診が非推奨。LDCT非推奨の指針は13年前のものであり、以後多くの有用な研究※が発表された。過剰診断は喫煙者や高齢者等ハイリスク者に限定したLDCTで抑えられる。X線肺がん検診に市民が過剰な期待を持っている。早期発見率やLDCT等の適切な周知を。

福祉部長 国が非推奨であり、市として積極的な周知は難しい。

議員 国の対応の遅さが根本的な問題。進行中の日本の研究を待つと10年以上かかる。杉並区の肺がん見逃しは現在訴訟中。市民の健康のため、情報収集と検証を。

▼部位別のがんの死亡数、5年生存率、検診による早期発見率

部位	戸田市の検診	2017年死亡数	早期発見率※	5年生存率 Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
肺	X線・喀痰	74,120	33.3	81.8	48.4	21.2	4.5
大腸	便潜血	50,681	50.4	97.6	90.0	84.2	20.2
胃	X線・内視鏡	45,226	60.6	97.4	65.0	47.1	7.2
乳	視触診・マンモグラフィ	14,285	57.9	100	96.0	80.8	37.1
前立腺	PSA検査	12,013	—	100	100	100	63.7
子宮頸	細胞診	2,795	54.4	92.3	77.6	62.8	26.6

※早期発見率はがん対策推進協議会資料より。（肺・乳・子宮頸は0+ⅠA、大腸・胃はM+SM）　5年生存率は全がん協生存率調査より。

一般質問

お知らせ

■議員辞職

3月29日付で、金野桃子議員（戸田の会）が辞職しました。辞職に伴い、現在の議員数は25人になります。

■会派名変更

5月1日付で、「平成会」が「令和会」に会派名を変更しました。

5月1日現在の会派構成は下記のとおりです。

みらいの会	6人
令和会	5人
公明党	5人
戸田の会	4人
日本共産党戸田市議団	4人
無所属	1人

市議会モニター委嘱状交付式を開催

平成31年2月26日に、市議会モニター委嘱状交付式を開催し、5人の方に委嘱状を交付しました。

市議会モニターとは、議会の運営等に関して、市民の皆さまからの要望、提言その他の意見を広く聴取し、円滑で、民主的な議会運営を推進することを目的としている制度です。委嘱期間は、平成31年2月6日から1年間。

▲市議会モニターの皆さん、よろしくお願いします。

※低線量CTの研究…大規模ランダム化比較試験がアメリカやオランダで発表。現在日本でも進行中。今年、日立市でコホート研究も発表。

平成31年 2月 臨時会

2月6日～2月7日

臨時会が2月6日、7日の2日間開かれ、役職改選が行われました。

役職改選では、三浦議長の辞職願が許可された後、議長選挙を行った結果、遠藤英樹議員が議長に当選しました。

また、細田副議長の辞職願が許可され、副議長選挙を行った結果、峯岸義雄議員が副議長に当選しました。

◎議長選挙結果

遠藤　英樹　22票
本田　哲　4票

◎副議長選挙結果

峯岸　義雄　22票
花井　伸子　4票

その後、常任委員等の各種役職選出を行い、さらに、議会選出の監査委員として、竹内正明議員の選任に同意しました。

戸田市議会役職一覧表

区分		委員長	副委員長	委員							監査委員
常任委員会	総務	細田	林	本田	馬場	酒井	手塚				竹内
	文教・建設	三輪	十川	矢澤	遠藤	土屋	伊東				
	健康福祉	斎藤	佐藤	むとう	竹内	三浦	熊木	山崎			
	市民生活	石川	浅生	峯岸	花井	榎本	高橋				
議会運営委員会		馬場	伊東	浅生	本田	土屋	酒井	三浦	熊木	山崎	
特別委員会	まちづくり・交通対策	熊木	三浦	浅生	十川	林	斎藤	花井	三輪		
	議会改革	酒井	高橋	佐藤	本田	石川	細田	馬場	山崎		
	議会広報	手塚	榎本	矢澤	むとう	竹内	土屋	伊東			

区分		委員									
一部事務組合	競艇企業団議会（議長：三浦）	矢澤	浅生	佐藤	十川	林	むとう	本田	石川	細田	遠藤
		馬場	手塚	三浦	山崎						
	衛生センター組合議会（議長：酒井）	竹内	斎藤	土屋	花井	酒井	三輪	榎本	熊木	伊東	高橋

31年度 常任委員会の年間活動テーマ

総務委員会
- 外郭団体への関与のあり方等について
- 戸田市独自の条例づくりについて
- 年間活動テーマの検証について

文教・建設委員会
- 空き家対策について

健康福祉委員会
- 戸田版※ネウボラの開設について

市民生活委員会
- 特殊詐欺対策について

さくらパル祭りに伺いました

3月23日開催のさくらパル祭りに、議会広報委員が伺いました。射的ゲームでは、子供たちの真剣な様子が見られました。

※ネウボラ…フィンランド語で“ネウボ＝アドバイス”、“ラ＝場所”という意味で、妊娠から出産、子供が生まれた後も基本的には6歳まで、切れ目なくサポートを提供する総合的な支援サービスを行う施設のこと。

正副議長就任あいさつ

議長　遠藤（えんどう） 英樹（ひでき）

副議長　峯岸（みねぎし） 義雄（よしお）

このたび、議員各位のご推挙により、議長並びに副議長の要職に就かせていただくことになりました。身に余る光栄であり、その責任の重さに、改めて身の引き締まる思いでございます。

時代の移り変わりが著しい昨今、地方自治体には、状況の変化に柔軟に対応できる体制の整備が求められております。このような中、市議会では、議会のＩＣＴ化の一環として、タブレット端末を導入し、会議運営の効率化を進めているところでございます。

今後も活力ある議会に向け、議員一丸となって議会改革に取り組んでまいりますので、引き続き、皆様方のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

題字を書いてくれた人

戸田市の明るい子どもたちをイメージして、力強く、太く、「とだ」の字を書いてみました。漢字ではなく平仮名だったので、字のバランスをとるのが難しかったのですが、何回も書き直し、イメージ通りの字が書けたと思います。

戸田東中学校　２年　半田（はんだ） 凜（りん）さん

6月定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

6月	3日（月）	本会議（開会、議案説明）
	10日（月）	本会議（質疑、請願の提出、委員会付託）
	13日（木） 14日（金） 17日（月） 18日（火）	本会議（一般質問）
	19日（水）	常任委員会
	20日（木）	特別委員会
	26日（水）	本会議（委員長報告、討論・採決、閉会）

※開議時間は、いずれも午前10時です。

気軽に市役所へ傍聴においでください。

▲議会広報委員会のメンバー（前列左から伊東、榎本、手塚、峯岸　後列左から…土屋、矢澤、むとう、竹内、金野）平成31年3月25日撮影

ほっとコーナー

息子が3月に小学校を卒業。私自身もＰＴＡの役員や所属していたソフトバレーチームも卒業。先生方や保護者の皆さん、そして息子の友人、たくさんの人に支えていただいたことに、改めて感謝しかありません。中学校生活も親子で頑張るぞ！　（竹）

プロ野球はセ・パ両リーグでペナントレース中であり、どの球団の新人選手も即戦力として期待をされているが、シーズンを通して何人の選手が活躍できるか楽しみである。そして、この選手の中からイチロー選手のように、メジャーリーガーとして世界を駆け巡る選手が誕生してくれればと、思いをはせる今日この頃である。　（E）

市議として3度目の桜の時期となり、任期の折り返しを迎えました。今3月議会では、委員会などの所属も一新し、新市長の初の予算編成を審議。今年度も気を引き締めて頑張ってまいります。（青）

市議会議員になり、2期7年目を迎えました。ここまで来られたのも、支えてくださった皆さんのおかげと感謝しております。先日は初の甥っ子が生まれて、あまりのかわいさにデレデレ叔母さんです。私にも春が来ますように♡　（桃）

（掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで）
本紙は環境に配慮し、再生紙と「大豆油インキ」を使用しています。

戸田市
発行・戸田市議会　編集・議会広報委員会
TEL 048-441-1800（代）FAX 048-433-2212
〒335-8588　戸田市上戸田１丁目18番１号
メール　gikaijimu@city.toda.saitama.jp
ホームページ　http://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/
表紙写真撮影：手塚静枝議員